

1. 今回のポイントの再整理

PIレポート(ステップ2)では、前章まで地域の将来像と福岡空港の役割および将来の航空需要の予測について考察を進めてきました。それらは各々、次のとおり整理されます。

■地域の将来像と福岡空港の役割

地域が目指すべき将来像の実現と福岡空港の課題解決のために必要な福岡空港の役割は、次のとおり。

- 海外・全国と福岡を結び相互交流の拡大を支える空港〔航空ネットワークの拡充〕
- サービス向上を促進し、航空需要を支える空港〔空港容量の確保〕
- 福岡の交通結節機能を活かし、速く・安く・快適な移動を支える空港〔利用者の利便性向上〕
- 地域と共存しながら、福岡・九州の自立的発展を支える空港〔幅広い航空利用と安全・環境等への配慮〕

■将来の航空需要の予測

今回の需要予測の結果は以下の通りであるが、今後とも需要予測で前提としたことや北部九州の実際の航空需要の動向について、注目していく必要がある。

- 国内航空旅客については、今後の日本の経済成長や福岡都市圏の人口増加等に伴い増加が見込まれる。
- 国際航空旅客については、アジア諸国の経済成長や人口増加を背景に増加が見込まれる。
- 福岡空港では、2010年代初期には滑走路処理容量に余力がなくなり混雑状況が拡大し、需要に十分応えられなくなるものと予想される。

■将来の対応案の検討

将来の対応案について、今後PIステップ3に向けて、どのような案が考えられるか検討を進め、PIステップ4で各案の評価を行う。

- 将来の対応策
- 近隣空港(新北九州、佐賀)との連携
 - 現空港における滑走路増設
 - 新空港建設